

# 2023 年度東邦大学医学部

## 模擬患者（SP）さん募集

～患者さんの立場を理解できるお医者さんを育てるために～

医学生のコミュニケーション教育にご協力いただける  
模擬患者（SP）ボランティアを募集しております。

東邦大学医学部では患者さんの立場を理解できる「より良き臨床医」を育成するために、学生に診察の際の医療面接の授業や試験を実施しています。これらの教育には、患者さんの気持ちを伝えてくれる患者さん役（模擬患者）の協力が欠かせません。

### 募集要項

- ・ 20 歳以上、70 歳未満の方（2023 年 4 月 1 日現在、69 歳までの方）
- ・ 模擬患者（SP）の意義を理解し、東邦大学の学生の教育にご協力いただける方
- ・ 学生の授業・試験や SP 養成講座に合わせて時間を調整できる方
- ・ 本学の第 10 期 SP 養成講座（5 月開講）に原則 5 回以上参加できる方（受講料無料）
- ・ 連絡のためのメールが使える方
- ・ zoom を用いたオンライン講習を受講できる方（自信がない方はご相談ください）

※原則として、医療関係者（医師・看護師・薬剤師）以外の方を募集しています。一般市民の視点で学生に接していただきたいためです。ただし医療関係者でも、当会の主旨をご理解いただいた方にはご協力をお願いしております。

また、健康状態等の理由により授業や試験への参加をお断りさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

### 応募方法

- ① 下記のメールアドレスに申し込む  
件名を「SP 養成講座 参加希望」とし、本文に「お名前・フリガナ、性別、年齢、連絡先（電話番号、携帯可）」を明記してください。質問などがございましたらご記入ください。
- ② 返信を受ける（パソコンからのメールを受け取れるように設定してください）  
1 週間以内にこちらからメールを返信させていただきます。
- ③ 参加登録終了

応募締切：2023 年 5 月 13 日（土）

申し込み ・ お問い合わせ

東邦大学医学部医学教育センター SP 研究会

E-mail : [sp@med.toho-u.ac.jp](mailto:sp@med.toho-u.ac.jp)

\* ご入力いただいた個人情報は厳重に管理し、SP 研究会以外の目的では使用いたしません

# 模擬患者（Simulated Patients）ボランティア募集のご案内



## 1. 模擬患者（SP）とは

医療系学部の授業の時などに、学生と患者さんとのコミュニケーションなどを実践的に学ぶ際に相手となる「患者」役です。医学生が患者さんに話を聴く場面で、設定されている症状を話したり、質問に答えたりします。

## 2. 模擬患者の役割

- ① 演じる・・・病気の症状、その患者さんの背景、気持ちなどの設定やセリフが書かれている模擬患者用の台本をお渡しします。それをもとに「患者さん」を演じます。
- ② コメントをする・・・医学生の態度や言葉遣いを観察し、良かった点・悪かった点を率直に伝えます。
- ③ 共用試験 OSCE に参加する・・・当会は医療系大学間共用試験実施評価機構（以下、機構）から認定模擬患者養成団体として認定された団体です。本学の養成講座の全課程を無事修了し、機構が主催する医療面接の試験に合格することで、認定標準模擬患者として全国の医学部の共用試験 OSCE に参加することが可能となります。

## 3. 模擬患者養成講座のご案内

模擬患者ボランティアとしてご活躍いただくためには、本学の模擬患者養成講座の受講が必要です。この講座で模擬患者について、楽しみながら一緒に学びませんか。

**受講料は無料です。** 受講を修了した方には、東邦大学医学部模擬患者として認定証を発行しています。

※5回の参加が困難な場合でも、お気軽にお問い合わせください。



## 4. 2023年度 第10期 模擬患者養成講座 スケジュール

(原則対面で行いますが、状況によりオンライン講習で行なうことがあります)

	月日	時間	内容(予定)
1	5月25日(木)	13:30~16:30	模擬患者とは?説明会・オリエンテーション、自己紹介・面接
2	5月30日(火)	13:30~16:30	基本的なスキルの修得 ・ 模擬患者役の理解
3	6月8日(木)	13:30~16:30	・ シナリオの覚え方
4	6月12日(月)	13:30~16:30	・ フィードバックの行い方 ・ 授業での評価 ・ 演技練習
5	6月27日(火)	13:30~16:30	標準化を目的としたスキルの修得 ・ 標準化の理解
6	7月6日(木)	13:30~16:30	・ 演技の標準化演習 ・ 公的試験における評価 最終日: 全体を通して総復習、修了式、面接



**医学生とお互いに教え学びあいつつ、医学教育を盛り上げてくださる方のご参加をお待ちしています。**

